

第44回 社福協 健康食品フォーラム

テーマ：高齢化社会の日本における健康食品の可能性を探る

日本の高齢化率（65歳以上の人口の割合）は27.7%に達しており、総人口が減少する中で、今後もますます上昇していくものと考えられます。また、2018年版の「世界保健統計」によると、日本の平均寿命は84.2歳で世界1位、健康寿命（健康上の問題がない状態で日常的に生活できる期間）は74.8歳でシンガポールに次いで世界2位となっており、まさに「長寿大国日本」と言えるでしょう。

様々な環境が整えられ、人々が「長生き」できるようになったことは寿（ことほ）ぐべきことではありますが、平均寿命と健康寿命の差は「健康ではない期間」という意味でもあり、日本ではこの期間が9年以上も続くということになります。健康で元気に老後の生活を送るためにも、この期間をいかに短くするかが、現在の大きな政策課題となっています。

低栄養状態から、全身の機能が低下し「フレイル」という虚弱状態になり、これを放置すると要介護、寝たきりという状態になってしまうことから、最近では、特に「高齢者の食と栄養」の問題が大変注目されるようになってきました。

今回のフォーラムでは、高齢化が進む日本の現状を踏まえ、健康寿命の延伸を図るために、政府の取組み、市場の動向、栄養対策と様々な視点から健康食品の可能性について考えて参りたいと思います。多数の方のご参加をお待ち申し上げます。

日 時	平成30年11月1日（木） 13時～17時
講 師	<ul style="list-style-type: none">・西川 和見（経済産業省 商務・サービスグループ ヘルスケア産業課長） 「ヘルスケア産業と健康食品」・飯塚 智之（株式会社 矢野経済研究所 フードサイエンスユニット 主席研究員） 「市場調査から見える 高齢化社会における健康食品の可能性」・北村 明彦 （東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加と地域保健研究チーム 研究部長） 「高齢期の栄養対策 ―生活習慣病予防と介護予防の観点から―」 <p>【敬称略】 ※都合により演者は変更される場合があります 3名の講師のご講演のあと、パネルディスカッションを行います</p>
会 場	「全社協・灘尾ホール」 新霞が関ビル1階 〒100-8980 東京都千代田区霞が関3-3-2
交 通	東京メトロ「虎ノ門駅」より徒歩約5分、東京メトロ「霞ヶ関駅」より徒歩約7分
主 催 (お問合せ)	一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会 健康食品フォーラム事務局 〒105-0003 東京都港区西新橋1-5-11 第11東洋海事ビル4階 TEL：03-3595-1555 FAX：03-3595-1559 E-mail：kenshoku@shafuku.jp

申込方法

本フォーラムは社福協会員限定とさせていただきます。

既に会員登録がお済の方は会員専用ページ（<https://www.kenshoku-forum.jp/forumSeminar/forumDetail/23>）よりお申し込みください。

会員登録がお済でない方は、社福協 HP（<https://www.kenshoku-forum.jp/>）より会員登録を行ってください。当協会より年会費の請求書をお送りし、ご入金を確認後、ログインパスワードを発行いたしますので、会員専用ページよりお申込ください。

（ご入金からパスワードの発行まで、1週間程度お時間をいただく場合がございます。）